

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.3, DECEMBER 1986-EKUTEBIAN〉

12

「ベスト立川人・展'86」
今年もウィル9階で。12月11日(休)〜17日(水)



まい あーと・パッチワーク「クリスマス・ツリー」by 森崎みゆき

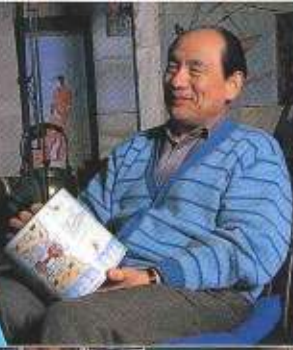
→コリン・ケルコウズさん
ゲスト・立川人▼姉妹市
サンスから来日した女性市
長は美業家の顔も、流石キ
リッパウーマンの貴族気分。



→松崎泰和、慎二さん
富士野町にある馬防衛まわ
しのニューフェイス。伝統を
絶やしてなるかの意気は高い。



→上原義昭さん、他▼立川大学に
所属する「ライオン」部。立川大
学としての上原さん、音楽院の
とら、楽譜は自ら手がける。



→水島武雄さん
ゲスト・立川人▼あのムサシが、毎年ぶりか
で日本にかえってきた。立川(一中)にその姿をみ
せるや、ワツと集う立川少年サッカーファン。



→青木以江さん
都下の五合歳所で初めての
の女性管理職は立川商工会
議所経理課長の青木さん。
いま注目の人々も活躍中。



→小林玉来さん
水琴窟という、手水場から
おちる水滴が妙なる音をか
もした。玉来流鼓道道。

→藤 義士さん
趣味で始めたマジックが今ではプロな
みの船になりチャンピオンにも選ばれた。
道具作りの工夫から自ら手がける本流。



→田所宏美さん、一美さん
小六の双子の姉妹。中学生を相手に都バト
ミントン大会ダブルス戦優勝。大会出場は中
学からだが、実力を買われて遠征も幾多。

→島海 悠さん
春に想いふ男のたたり
家政学を出版、女性にける
日常生活も島海さんにかか
ると楽しい。エッセイに変わる。



FACE '86

今年も「えてびあん」は、多くの立川人に逢
うことが出来ました。それぞれの人が、それぞ
れの道で躍やくとして、あらん限りの生命を燃焼さ
せている、その表情はご覧のとおり、輝くばかり
ではございませんか。期惟も間近か、歳末恒例の
ベスト立川人・展 に先がけて、チラリとお見せ
いたそう、われらが Tachikawa Face '86!

→中込重春さん
立川で餅焼きを焼き続けて
30年。常にマイペースを
崩さない姿勢にはそこはか
となく哲人の風格が漂う。



→鈴木健一さん
ゲスト・立川人▼ゲストと云つても
わが都知事候補は立高出身だそうで、さ
すれば立派りか。この夏、ゴミニ、せら
運動で立川人運動に動見せ。



→久田雅夫さん
熊サヲ野真家、テンに結せられ
この道へ。東京に生きる野生動物
たちへの写真集を出版。この傑作
もできるこのか、と
自然保護に駆られた
深夜の撮影。



→清水正広さん
立川で嫁家といったら「立川学松齋」
この人を置いていない。プロ顔まけの芸
に酔った方もおいてだろう。「大きい癖」
にいとむ、これも才能のうちか。

→塚田千晶さん
二ヶ月しか住んでいない町の代表に
なつてしまったので本人もビックリだ
た。今年のミスは英語に堪能な才媛だ。



今年も「ベスト立川人・展」開催

全国に653の市がある中で、市民の手によって、市民を讃える催しをしているのは、立川市だけです。



Best Tachikawain
of the year '86

〈協賛〉
立川観光協会
立川市商店街
振興組合連合会

〈主催〉 えくてびあん編集工房
〈後援〉 立川商工会議所
立川青年会議所
立川市文化連盟
立川市社会福祉協議会
西武新聞社
協和銀行
埼玉銀行
第一勧業銀行
太陽神戸銀行
多摩中央信用金庫
東京都民銀行
富士銀行
三菱銀行
山梨中央銀行

右側に管の
挿入可入ります!

▶365句!◀
立川カレンダー'87

世界中さがしても、この街にしかないカレンダーを、君は欲しくはないか。この街に住む人が一句一句、詠みあげてくれた「5・7・5」の宇宙空間を、一年間、たっぷり愉しもうではないか。

12月11日(木) 午後2時に開催

於・朝日ギャラリー(ウィル9F)

写真 真 天野武男・板橋一明・小林洋治
武岡浩三・武田和紀・吉田義治

アートディレクター 小塚秀忠

あなたも、この立川市では相当に面白い存在だが、あなたより面白い人がこの街にはいる。気がむいたら、見にこないか?

なにか、かわつたことをした人、まわりの人の気持を、あかるくした人。こういふ「立川人」を一年がかりで且念に訪問し、わが立川で精銳カメラマンが入魂のシャッターをきつた。その写真を一堂にあつめたのが「ベスト立川人・展」である。今年も出揃いました。ざっと、三十数人。昨年と負けず劣らず、まあ、よ

くもこまでやってくれるわ、という人もいます。あれ、この人、立川の人だったの?と今さらながら、わが街をふり返ってみたくなる幾枚かの写真をあなたはみつけるであります。

歳末のあわただしい一日、ぶらり、ウィル9階へ寄ってみませんか。青年会議所がこの立川を「ナイス街!」と呼んだ気持、この写真展をご覧になれば、あなたも得心がいこう。

あたたかなサービスで
お迎えします
みなさまの
富士銀行

?立川クイズ・答
昭和十五年に市になり、小川孝喜、三浦隆郎、中嶋舜司、板谷信一郎、中嶋舜司、桜井三男、鈴木濱、阿部行蔵各氏と続き現市長の岸中士良氏が9代目。答えは①

漢字テスト①
空欄に二字押入を試みよう。
鳥 匆 匆
欲 情

表紙は語る
なんとも可愛らしい表紙。それもそのはず、作者の森崎みゆきさんは幼稚園の先生を七年もしておられる大ベテランなのである。「あら、はずかしい、年がバレちゃう」
はにかむ口もとから、白い歯がこぼれる。

「まだ、ひとに云える程のキャリアもないし、もっと先輩がたくさらいらっしゃるのに、いきなり表紙に載せていただくなんて、ユメみたいですよ」
パッチワークを習いはじめ、まだ一年半。先輩のなかには、まるでミシンのように「正確に、速く縫っていく」ともいいます。「そこまではなかなか。でも、パッチワークって、構想をねって、その時から胸がわくわくするほど面白い世界なんです」
教室は国立市の「キルトサークル・ピンクッション」(☎0425-76-0570)に通っている。
「表紙にして頂いたのはパッチワークともいえない、ただ子供たちのために飾っていただけなんです」
まだ独身なんですって、モックナイイ。

真如苑だより
立川にも冷たく乾いた北風が吹くようになりました。気ぜわしい日々のなかに、ふと真如苑をおとすれてみる。なにか暖かいものを感じていただけますように。
日時 12月13日(日)
午後2時~4時
御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。
立川市民(成人)に限らせて頂きます。
お申し込みは「えくてびあん」コンパニオン本誌を手渡してくれたい人へ。

立川太極会
立川練成館
木曜日 PM7~PM9
会長 小野新夫
Tel. 23-5588

美容室 **かくや姫**
えくてびあんと会い言葉に
1800円と1000円にサービス。
12月28日 27-0911

美容室 **かくや姫**
えくてびあんと会い言葉に
1800円と1000円にサービス。
12月28日 27-0911

月刊「えくてびあん」第29号
昭和六十一年十二月一日発行
発行所 えくてびあん編集工房
東京都立川市栄町2-4-11
ファインビルディング 3F
電話 〇四二五〇〇82
編集人 立井啓介
発行人 沖野嘉男
印刷所 株式会社立川印刷所

立川・歴史のひとコマ
◆立河氏のその後
豊臣秀吉の小田原攻めの際、立河氏は照重を当主として北条氏照の麾下に属して秀吉の軍勢と戦いました。しかし天正十八年(一五九〇)八王寺城落城とともに立河氏一族は四散……鎌倉時代はじめより立河郷に土着し普濟寺に城郭を築いて栄えた立河氏は滅亡したのです。

その後、徳川頼房(水戸藩の祖)に仕え、家老職に。頼房の許しを得て八王子の遺臣十七人を与力として水戸藩に迎えました。その中に立川宮内の名があり、この人が立河氏の出身ですが、なぜ立河から立川になったかはさだかではありません。八王子の遺臣達は八王子衆と呼ばれ、屋敷のあるところは八王子町と名付けられました。立川宮内もここに居住しましたが、宮内の次男の子孫の家は一六八〇年改易にあい、さらに長男の子孫も一七六八年に何らかの理由によって水戸藩を追放されました。今日、水戸市における藩士立川氏の子孫の存在は全くわかりませんが、水戸市松本町の常磐共有墓地に無縁仏になっている立川氏の墓

が今も残っています。立川の姓を名乗る家は、現在立川市にもたくさんありますが、これはすべて明治以降に新たにおこった立川姓で、歴史上の立河氏の後裔とは関係ないとのことです。水戸藩士立川氏の子孫は今、どこにいるのでしょうか? なお、立川宮内の直系ではありませんが、同じ立河氏の流れをくむ立川姓を名乗る家が常陸太田市にあることは早くから知られていました。ここに伝わる系図やその他の資料により、水戸立川家の存在がつきとめられたのは、昭和四三年に刊行された「立川市史」編集の時のことでした。(R・K)

●本屋さんの店頭には早くも、年の瀬がやってくるような気配です。その前に立川ではやらなければならぬことがあります。●「立川人・展」がすっかり、読者の皆さまにはおなじみになりました。タモリ・クンジャやありませんが「友だちの輪」をひろげていただければ、うれしく思います。●「365句!」は、まあ、単なるカレンダーなのですが、立川人がつかうと飛び入り面白くように作られているのです。なにしろ、お隣りのおばあちゃんの「名作」が、ひょこひょこ、とびだしてくるという不思議なカレンダーなのです。ただ、立川人以外の方は、ちょっと気がぬけたビールというところでしょうか。ごめん。●冬日に三日月あがり えくてびあん。

玄川 御馳走館

こちそうかん
 創る人がいて、味わう人がいる。この華麗なる当り前の世界——6



冬はチャンコに限る、と思っておられる向きも多からうと察するが、そもそも、チャンコとは何処へ行ったら食べさせてもらえるものか。チャンコ食べたし、店はな



「体は味をあらわす」というのは本当らしい。シェフ村井樂人さんのおおらかさが、土俵の味をかもし出す。ちゃんこ鍋一人前 ¥1,000から



し。ところが、2年前に突如としてわが立川に「相撲料理」専門店登場、その名も「土俵」。なにし

ろ、二子山部屋出身の元力士が板場にたつという本格派だから、すっかりいい気持になっちゃう。柴崎町三丁目 電話 03-1122-8



これはまた珍しい板碁付。宴会場でみられる。



軍配ニキ力士の命づな。味」の軍配は「土俵」にあがるか。



やはり相撲部屋のように、大勢で鍋をつつくのが最高のようで。

